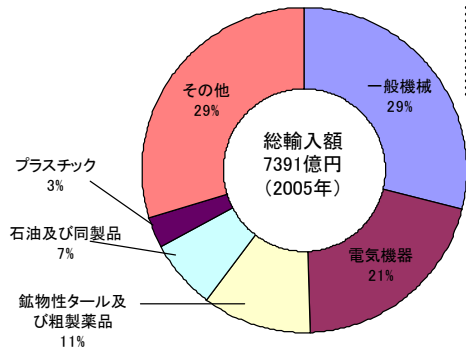
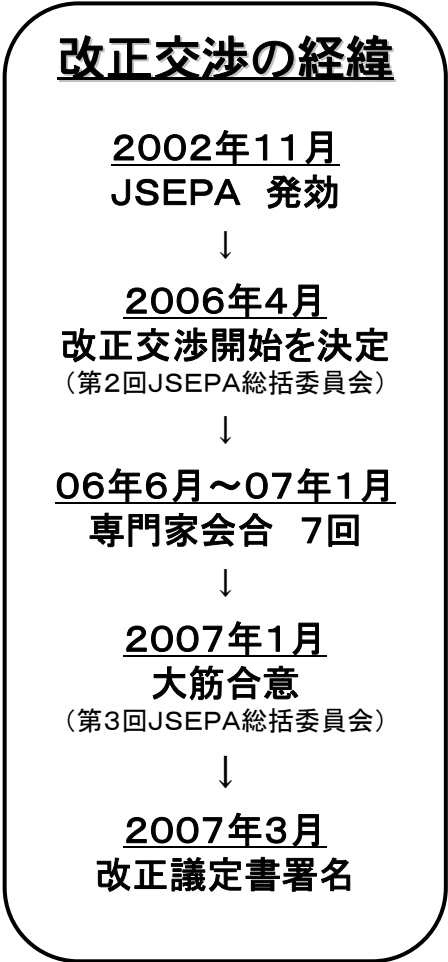


日・シンガポール経済連携協定改正議定書の概要



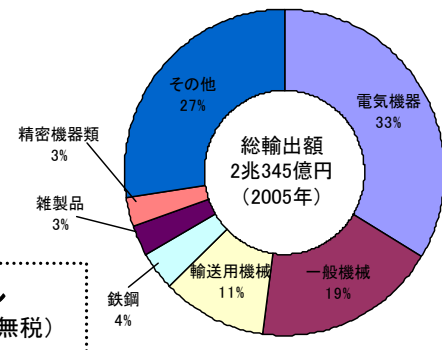
日・シンガポール経済連携協定（JSEPA）改正の意義

- 発効後5年目を迎えた協定の見直し(双方関心分野の自由化拡大等)
- ASEAN全体との経済連携強化のための更なるステップ



日本←シンガポール
(今次改正で輸入額の約95%が無税に)
(現状より約2%アップ)

日本の対シンガポール貿易構造
(2005年財務省貿易統計)



日本→シンガポール
(現行協定で輸出額の100%が無税)

- **市場アクセス改善** (日本側のみ。シンガポール側は現行協定締結時に全品目の関税を撤廃済。)
- **鉱工業品** 一部の石油・石油化学製品(揮発油・軽油、ポリプロピレン等): <即時又は段階的関税撤廃>
- **農林水産品** マンゴー、ドリアン、アスパラガス、カレー調製品、製材、えび等: <即時又は段階的関税撤廃>
- **金融サービス 特定約束の改善**
- **シンガポール側改善点**
 - ・フル・バンク免許枠の拡大(1行分)
 - ・ホールセール・バンクの免許発給数の制限撤廃
 - ・国境を越える証券取引の自由化拡大
- **我が方改善点**
 - ・保険仲介サービスの自由化拡大
 - ・国境を越える証券取引の自由化拡大
- **その他の主な改正部分**
- **原産地規則** 付加価値基準における材料の原産資格価額を計算する際、原産割合の閾値を60%から40%に引き下げること等
- **税関手続** 透明性向上に向けた更なる規定の整備等
- **セーフガード措置の見直し** 適用期間の延長、暫定措置の導入等